

Kansai Economic Insight Monthly

2014/9/24

Vol.17 August/September

・APIR “Kansai Economic Insight Monthly”

は、関西経済とそれに関連する中国経済の動向に関する分析レポートです。

・本レポートの内容は、公益社団法人関西経済連合会『関西経済レポート』と連携しています。

・レポート公開時期は毎月第二週金曜日を予定しています。

・執筆者は、稲田義久（甲南大学教授、APIR 数量経済分析センター長）、岡野光洋・林万平・木下祐輔（各 APIR 研究員）です。

・本編内の中国景気モニターは、APIR 中国経済分析のプロジェクトによるものであり、関西経済分析と連動して定期的に発信します。

・本レポートにおける「関西」は、原則として滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県の2府4県です。統計出所を発表している省庁などが「近畿」としている場合も「関西」に統一しています。

要 旨

- ✓ 7月の鉱工業生産指は2カ月ぶりの前月比上昇。生産は緩やかな回復軌道にある。
- ✓ 8月は輸出額の伸びは小幅プラス。一方、輸入は3カ月ぶりのマイナス。結果、貿易収支は6カ月ぶりの黒字。
- ✓ 8月の景気ウォッチャー現状判断DIは4カ月ぶりに悪化。同月の消費者態度指数も5カ月ぶりの悪化。これまで続いていた消費者心理改善の動きが停滞してきた。
- ✓ 6月の現金給与総額は関西2府4県、関西コアのいずれも4カ月連続のプラスとなった。7月の全国の現金給与総額(確報値)は所定外給与や特別給与の上昇により、5カ月連続のプラス。所定内給与も2カ月連続で上昇した。
- ✓ 7月の大型小売店販売額は、前年比2カ月ぶりのプラス。駆け込み需要の反動減の影響は和らぎつつある。
- ✓ 7月の新設住宅着工戸数は前年比-20.5%と大幅に下落し3カ月連続のマイナス。今月は貸家の販売不振が影響した。
- ✓ 7月の有効求人倍率は前月から0.01ポイント上昇し、6カ月連続で1倍台を上回った。一方、失業率は4.7%と2カ月連続の上昇となり、雇用環境の改善は一服している。
- ✓ 8月の公共工事請負金額は前年比-2.0%と6カ月ぶりのマイナス。季節調整値は3カ月連続の前月比マイナス。請負金額の伸びは減速感が強まっている。
- ✓ 7月の建設工事は前年比+4.9%と27カ月連続のプラスも、伸びは4カ月連続で1桁となった。建設工事は減速傾向。
- ✓ 8月中国のPMI指数は6カ月ぶりに悪化した。工業生産も前年比+6.9%と前月から大幅に減速した。

目次

要旨	1
景気の現況	2
中国景気モニター	9
主要月次統計	11
Release Calendar	12

【関西経済のトレンド】

	2013年				2014年							
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
生産	🔴↘	🔵↗	🟡→	🟡→	🟡→	🟡→	🔴↘	🔵↗	🔵↗	🔴↘	🟡→	
貿易	🔵↗	🔵↗	🔵↗	🔴↘	🔴↘	🔵↗	🔴↘	🔵↗	🟡→	🔴↘	🔵↗	🟡→
センチメント	🔵↗	🔴↘	🔵↗	🟡→	🔴↘	🔴↘	🔴↘	🔴↘	🔵↗	🔵↗	🔵↗	🔴↘
消費	🔵↗	🔵↗	🔵↗	🔵↗	🔵↗	🔵↗	🔵↗	🔴↘	🟡→	🟡→	🟡→	
住宅	🔵↗	🔵↗	🔵↗	🔵↗	🔵↗	🔴↘	🟡→	🔵↗	🔴↘	🟡→	🔴↘	
雇用	🔵↗	🟡→	🔵↗	🔵↗	🔵↗	🟡→	🟡→	🟡→	🔵↗	🟡→	🟡→	
公共工事	🟡→	🟡→	🔵↗	🔵↗	🔴↘	🔴↘	🔴↘	🔵↗	🔵↗	🟡→	🟡→	🟡→
中国	🔵↗	🟡→	🟡→	🟡→	🟡→	🟡→	🟡→	🟡→	🟡→	🔵↗	🔵↗	🔴↘

【鉱工業生産動向】

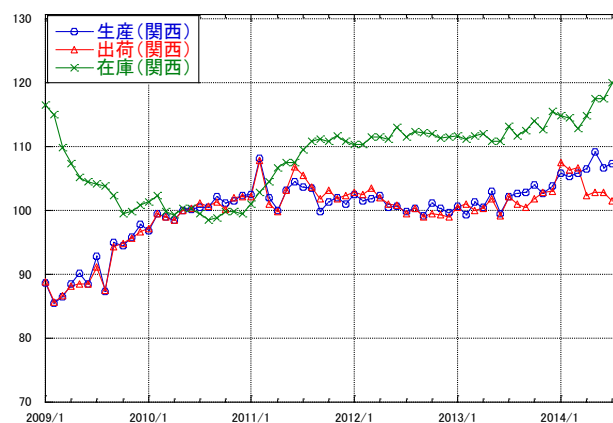
(1) 関西の生産動向

7月の鉱工業指数（速報値：季節調整済）を見ると、生産は107.3で前月比+0.6%と2カ月ぶりの上昇。出荷は101.5で同-1.4%と3カ月ぶりの下落。結果、在庫は120.1で同+2.1%、と4カ月連続の上昇。

業種別に生産指数をみると、はん用・生産用・業務用機械、(同+14.8%)、電子部品・デバイス(同+8.4%)、窯業・土石製品(同+1.5%)等が上昇した。一方、電気機械(同-8.3%)、金属製品(同-6.7%)、輸送機械(除. 航空機・鋼船・鉄道車両)(同-5.7%)等が下落した。

足下、生産は小幅回復するも、出荷が減少したことにより在庫は増加。ここのところ在庫は高水準となっている。

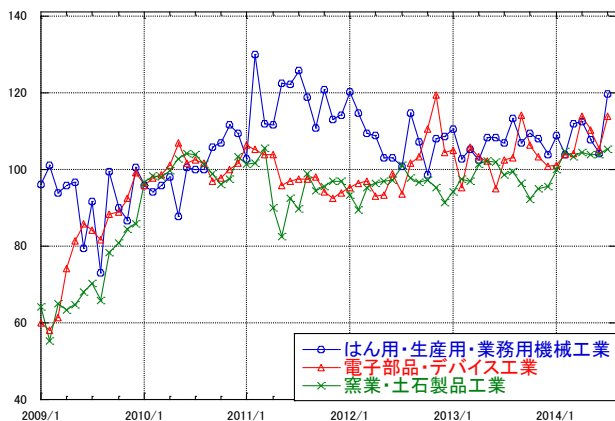
鉱工業指数の推移(関西：2014年7月まで、平成22年=100)



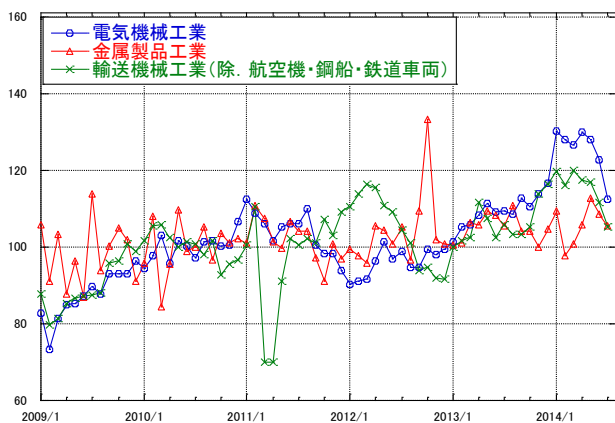
(注) 福井県を含む。

(出所) 「近畿経済の動向」、近畿経済産業局

業種別生産指数の推移(関西：2014年7月まで、平成22年=100)



業種別生産指数の推移(続き)



(注) 福井県を含む。

(出所) 「近畿経済の動向」、近畿経済産業局

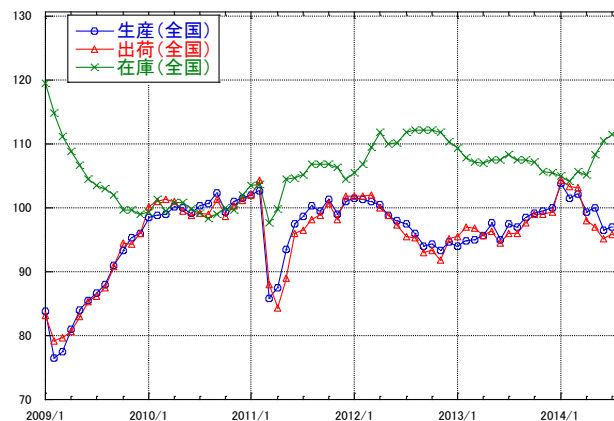
(2) 全国生産動向

全国における7月の鉱工業生産指数(確報値、季節調整済)は97.0となり前月比+0.4%と2カ月ぶりの上昇。出荷は95.9で同+0.7%と6カ月ぶりの上昇。在庫は111.6で同+0.9%と3カ月連続の上昇となった。

業種別にみると、はん用・生産用・業務用機械(同+6.3%)、石油・石炭製品(同+3.1%)、プラスチック製品(同+0.5%)等を中心に増産となった。一方、輸送機械(同-2.2%)、化学(同-1.8%)、情報通信機械(同-6.9%)等を中心に減産となった。

前月の減産から、足下、小幅回復となり、出荷も増加となった。速報における製造工業生産予測調査では、8月(同+1.3%)、9月(同+3.5%)は増産の見込みであり、今後、緩やかな回復が見込まれている。

鉱工業指数の推移(全国：2014年7月まで、平成22年=100)



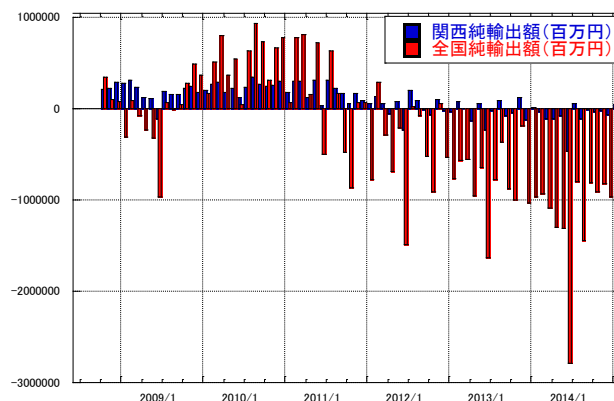
(出所) 「鉱工業指数」、経済産業省

【貿易動向】

(1) 純輸出

貿易概況(速報値)によれば、8月関西の貿易収支は+446億円と6カ月ぶりの黒字となり、前年同月比+525.4%と375億円増加した。全国8月の貿易収支(速報値)は-9,485億円と26カ月連続の赤字となった(同-2.4%)。

純輸出(百万円)推移(2014年8月まで)



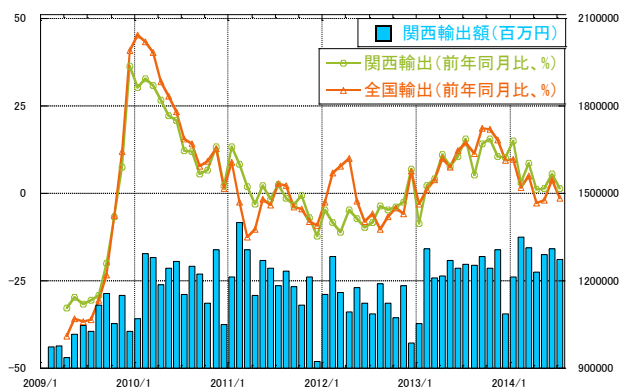
(出所) 「大阪税関貿易速報資料：近畿圏」、大阪税関調査統計課

(2) 輸出

関西8月の輸出額(速報値)は1兆2,735億円、前年同月比+1.3%と18カ月連続の増加だが、6カ月連続で1桁の伸びにとどまっている。財別に見れば、輸出増加に主に貢献したのは、半導体等電子部品、建設用・鉱山用機械であった。

全国 8 月の輸出額（速報値）は 5 兆 7,060 億円、前年同月比-1.3%と 2 カ月ぶりの減少。財別に見れば、有機化合物、自動車、鉱物性燃料等の輸出が減少した。

輸出(右、百万円)・前年同月比(左、%)推移(2014 年 8 月まで)



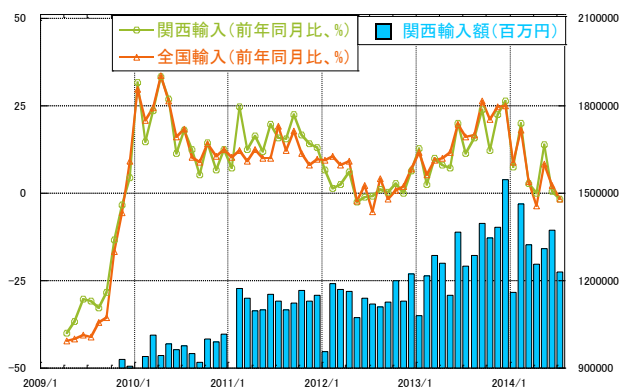
(出所)「大阪税関貿易速報資料：近畿圏」、大阪税関調査統計課

(3) 輸入

関西 8 月の輸入額（速報値）は 1 兆 2,288 億円と、前年同月比-1.7%と 3 カ月ぶりのマイナス。財別に見れば、衣類及び同付属品、通信機等を中心に減少。ただし、天然ガス及び製造ガス、石油製品は増加しいずれも単月過去最高額を記録した。

全国 8 月の輸入額（速報値）は 6 兆 6,545 億円、前年同月比-1.5%と 3 カ月ぶりの減少。財別に見れば、原油、石炭、通信機等の輸入が減少した。

輸入(右、100 万円)・前年同月比(左、%)推移(2014 年 8 月まで)



(出所)「財務省貿易統計」、財務省

(4) 関西の地域別貿易

8 月関西の貿易収支を地域別に見ると、対アジア貿易収支は +2,163 億円と 7 カ月連続の黒字であり、黒字幅は前年同月比+35.4%拡大した。うち、輸出は 2 カ月ぶりのマイナス(同-0.7%)。財別に見れば、輸出は原動機(同-44.6%)、鉱物性燃料(同-34.6%)等が減少した。輸入は 2 カ月連続の減少(同-8.9%)。財別に見ると、衣類及び同付属品(同-10.9%)、原油及び粗油(同-76.8%)等が減少した。輸出入ともに減少となったが、相対的に輸入減が大きく、貿易収支は黒字となった。

うち、対中貿易収支は-304 億円と 30 カ月連続の赤字だが赤字幅は 2 カ月連続で縮小(同-63.5%)。うち、輸出は 5 カ月連続のプラス(同+4.2%)となった。半導体等電子部品(同+9.2%)、通信機(同+83.5%)が増加した。一方、輸入は 2 カ月連続のマイナス(同-10.1%)。衣類及び同付属品(同-12.8%)、通信機(同-41.7%)が減少した。

対米貿易収支は+613 億円と黒字基調が続いているが、黒字幅は 2 カ月ぶりに縮小した(同-10.5%)。うち、輸出は 3 カ月連続の増加(同+1.0%)。半導体等製造装置(同+100.3%)、建設用・鉱山用機械(同+32.7%)等が増加した。輸入は 4 カ月連続の増加(同+10.6%)。天然ガス及び製造ガス(同+215.5%)、石油製品(同+145.0%)等が増加した。

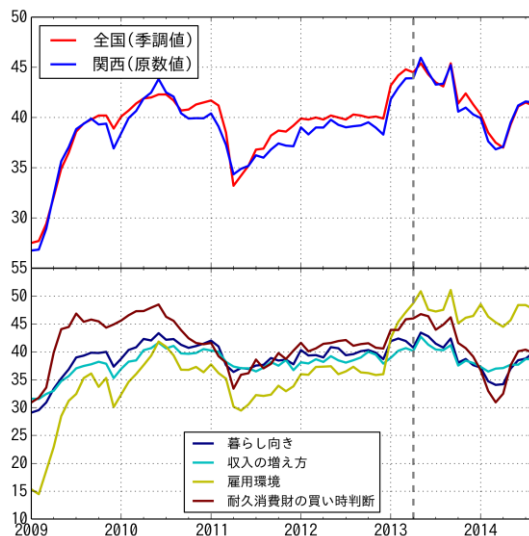
対 EU 貿易収支は+28 億円と 4 カ月ぶりの黒字に転じた。うち、輸出は 15 カ月連続のプラス(同+14.1%)であった。原動機(同+53.7%)、鉱物性燃料(同+1888.8%)等が貢献した。輸入は 2 カ月ぶりの減少(同-8.1%)。たばこ(同-28.3%)、医薬品(同-7.3%)等が減少した。

【消費者センチメント】

(1) 消費者態度指数の動向

関西の 8 月の消費者態度指数(原数値)は前月比-0.1 ポイントの 41.5 と、5 カ月ぶりの悪化。これまで続いていた消費者心理の改善の動きが停滞してきた。

消費者態度指数(2014年8月まで)



(出所) 内閣府 「消費動向調査」(平成 26 年 9 月 9 日公表)

同指数の構成項目をみると、「暮らし向き」は同+1.0 ポイントと 5 カ月連続のプラス。「耐久消費財の買い時判断」は同-0.6 ポイントと 5 カ月ぶりのマイナス。「収入の増え方」は同横ばい。「雇用環境」は同-0.7 ポイントと前月(同横ばい)から下落に転じた。

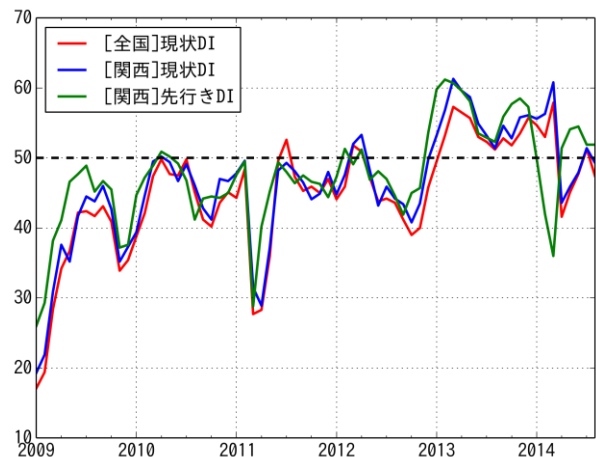
なお全国の 8 月の消費者態度指数(季節調整値)は 41.2 となり、同-0.3 ポイントと 4 カ月ぶりの悪化。

(2) 景気ウォッチャー指数の動向

関西の 8 月の現状判断 DI は前月-2.1 ポイントの 49.3 と 4 カ月ぶりの悪化。全国も同-3.9 ポイントの 47.4 と 4 カ月ぶりの悪化。消費増税の影響や台風等の天候要因が指数の悪化につながった。

先行き判断 DI は、関西では前月比横ばいの 51.9。全国では同-1.1 ポイントの 50.4 と 3 カ月連続の悪化となっている。

景気ウォッチャー調査(2014年8月まで)



(出所) 内閣府(平成 26 年 9 月 9 日公表)

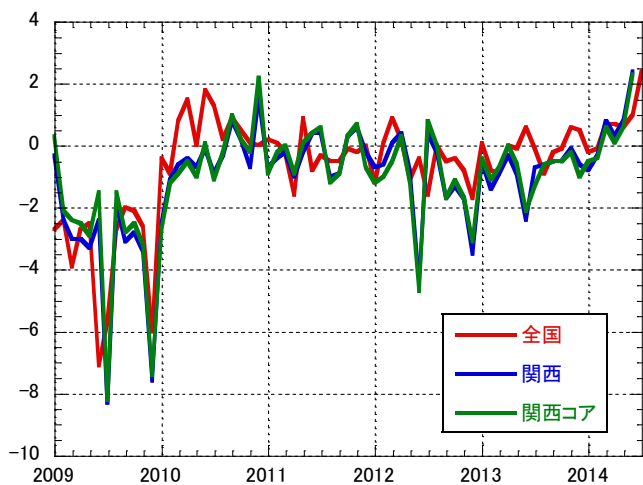
【所得・個人消費・住宅】

(1) 現金給与総額

6 月の関西 2 府 4 県の現金給与総額(APIR 推計)は 43 万 5,694 円で前年比+2.4%と前月(同+0.8%)よりも大幅に伸び、4 カ月連続のプラス。府県別では、京都府が 4.6%、奈良県が 4.1%、滋賀県で 4.0%、兵庫県が 2.6%、大阪府が 1.7% となった一方、和歌山県では 0.4%と小幅な伸びにとどまった。また、京都・大阪・兵庫の加重平均をとった「関西コア」賃金指数(APIR 推計)は 6 月が同+2.3%とこちらも大幅に伸び、4 カ月連続のプラスとなった(前月：同+0.6%)。産業別では、兵庫県の姫路第 2 火力発電所で営業運転が開始されたことを一部反映し、電気・ガス・熱供給・水道業で特別給与が上昇したことが全体を押し上げた。

全国(確報値)では、7 月は同+2.4%(速報値：+2.6%)と 5 カ月連続のプラスで、1997 年 7 月(同+3.1%)以来の高い伸び率となった。この背景として、企業業績の回復によって夏のボーナスである特別給与が前年比で+7.3%上昇したこと、残業代などの所定外給与が同+3.6%上昇したことがあげられる。また、所定内給与も同+0.3%と 2 カ月連続で上昇し、2012 年 3 月(+0.4%)以来の伸びとなった。

現金給与総額(前年同月比：％、2014年7月まで)



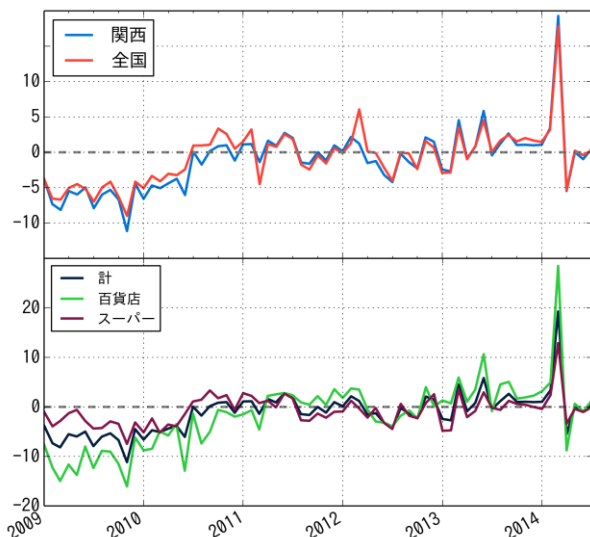
(注) 関西・関西コア(京都、大阪、兵庫)はAPIR 推計値。現金給与総額を当該常用労働者数(平成23年平均)で加重平均。

(出所) 厚生労働省「毎月勤労統計調査」(9月18日公表)

(2) 大型小売店販売額

関西の7月の大型小売店(百貨店+スーパー)の販売額(全店ベース)は、前年同月比+0.5%と2カ月ぶりのプラス。百貨店も同+1.2%と2カ月ぶりのプラス。スーパーは同-0.1%と4カ月連続のマイナス。消費増税から4カ月が経過し、駆け込み需要の反動減の影響は和らぎつつある。

大型小売店販売額(前年同月比：％、2014年7月まで)



(注) 福井県を含む。

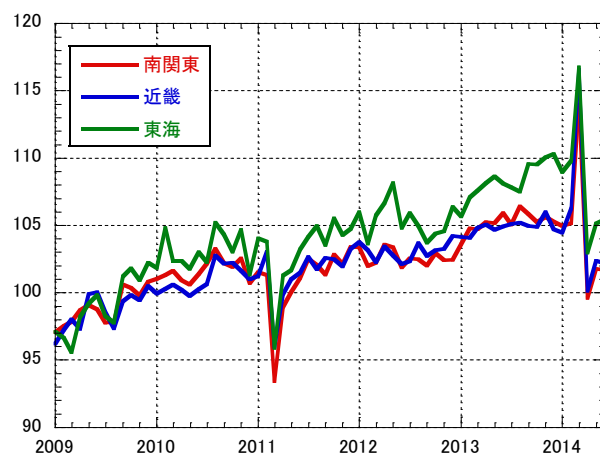
(出所) 経済産業省「商業動態統計」(平成26年8月29日公表)

全国でも、7月の大型小売店販売額(全店ベース)は同+0.3%と4カ月ぶりのプラスとなっている。

※地域別消費動向指数について

内閣府より、地域別消費動向指数が公表されている。地域ブロック別・都道府県別の経済データ(財1系列、住宅1系列、サービス37系列の統計)等を基に、地域ブロック内の支出の動向を迅速かつ総合的に把握するために試算されているものである。データは2002年4月分から月次で公表されている。

地域別消費動向指数(季節調整値、2014年6月まで)



(出所) 内閣府「地域別消費動向指数」(8月28日公表)

2014年4月の消費税率引き上げ前後の消費総合指数を地域別に比較すると、1-3月期の関西の消費動向指数の前期比は+3.72%と北海道に次いで2番目に大きく、4-6月期の前期比減少幅も、四国に次いで2番目に大きい-6.90%となった。関西は、生産面では全国を上回る水準で推移しているものの、地域別消費総合指数から見ると、駆け込み需要・それに伴う反動減ともに大きく、消費増税に敏感に反応していることが分かる。大型小売店販売額は前年同月比でみて駆け込み需要の反動の影響は和らぎつつあるが、地域別消費動向指数を前月比や前期比で見た場合、関西での消費税の影響は厳しいといえよう。

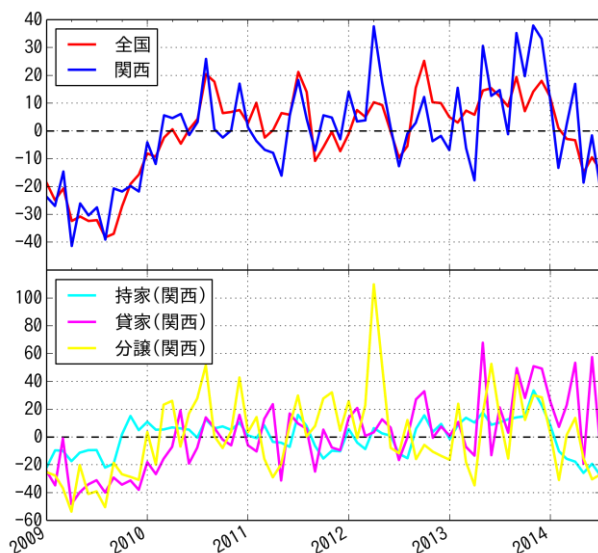
地域別消費動向指数 3 カ月ごとの比較 (季節調整値)

		駆け込み需要		反動	
	10-12月期平均	1-3月期平均	(前期比、%)	4-6月期平均	(前期比、%)
北海道	105.25	109.18	(+3.74)	103.03	(▲ 5.64)
東北	108.27	110.06	(+1.65)	103.58	(▲ 5.89)
北関東	106.67	108.84	(+2.04)	103.29	(▲ 5.11)
南関東	105.39	108.04	(+2.52)	101.05	(▲ 6.47)
東海	109.97	111.84	(+1.71)	104.52	(▲ 6.55)
北陸	106.65	109.85	(+3.00)	102.86	(▲ 6.36)
関西	105.19	109.10	(+3.72)	101.57	(▲ 6.90)
中国	105.62	108.03	(+2.28)	101.30	(▲ 6.24)
四国	105.07	107.92	(+2.71)	100.42	(▲ 6.95)
九州	105.83	107.12	(+1.22)	101.31	(▲ 5.43)
沖縄	118.46	120.45	(+1.68)	114.62	(▲ 4.84)

(3) 新設住宅着工の動向

関西の7月の新設住宅着工戸数は10,038戸。前年同月比-20.5%と大幅に下落し3カ月連続のマイナス。全国でも同-14.1%と5カ月連続で減少している。

新設住宅着工(前年同月比：％、2014年7月まで)



(出所)：国土交通省「住宅着工統計」(平成26年8月29日公表)

関西の住宅着工を利用関係別にみると、持家は同-27.6%と6カ月連続の2桁減、分譲が同-27.0%と3カ月連続の2

桁減。また貸家は同-7.0%と前月の大幅プラス(同+57.5%)から2カ月ぶりにマイナスに転じた。

なお7月の関西マンション契約率は73.8%(季節調整値、APIR推計)となった。好不調の目安となる70%を34カ月連続(原数値は6カ月連続)で上回り、好調を維持している。

【雇用動向】

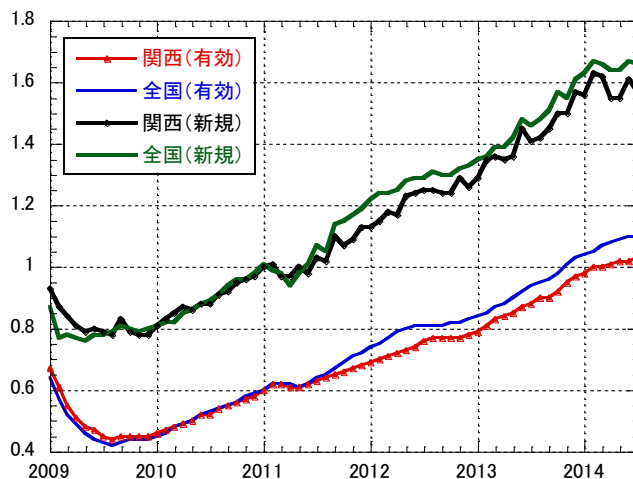
(1) 求人倍率の動向

7月の関西の有効求人倍率は1.03倍と前月から0.01ポイント上昇。2014年2月以降6カ月連続で1倍台を上回った。全国は1.10倍で前月比横ばい。2012年12月から20カ月ぶりに改善が止まったものの、引き続き高水準を維持している。

7月の関西の新規求人倍率は、製造業や医療福祉で引き続き求人数が伸びたものの、全体としては1.57倍と前月比-0.04ポイント下落した。全国も1.66倍と同-0.01ポイントの小幅下落。

関西の有効求人倍率を府県別にみると、受理地別では、滋賀県と和歌山県を除き上昇。京都府で0.03ポイント上昇していた。就業地別にみると、滋賀県や奈良県では求人倍率が1倍を上回り、特に工場が多い滋賀県では1.17倍と全国よりも高くなっている。

有効求人倍率の推移(季節調整値、2014年7月まで)



(出所) 厚生労働省「一般職業紹介状況」(平成26年8月29日発表)

関西2府4県有効求人倍率(2014年7月)

7月	全国	関西	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県
受理地別	1.10	1.03	0.97	1.07	1.13	0.89	0.90	1.02
就業地別	1.11	1.01	1.17	1.09	0.98	0.98	1.00	1.09

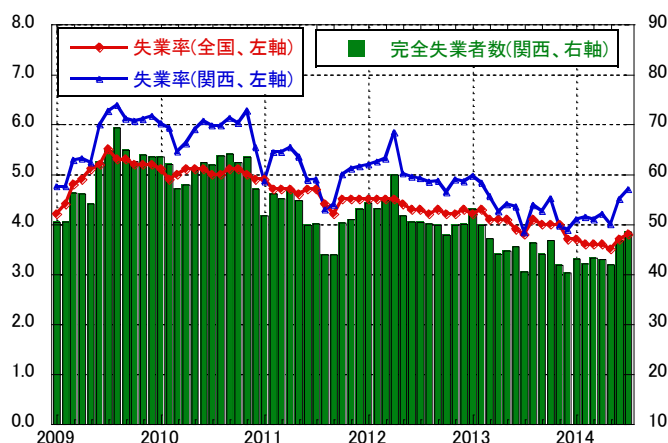
(2) 完全失業率の推移

7月の関西の完全失業率(季節調整値:APIR 推計)は4.7%となり、前月(4.5%)比+0.2ポイントと2カ月連続の上昇。2013年2月(4.8%)以来の高水準となり、雇用環境の改善は一服している。全国の完全失業率(季節調整値)は3.8%となり、前月(3.7%)から+0.1ポイント上昇し、こちらも2カ月連続の上昇。就業者数の減少と、新たに職を求める女性が増えたことによる。

全国の就業率(原数値ベース)をみると、72.6%と前月(72.9%)と比べて幾分減少したが、引き続き好調を維持している。

関西の完全失業者数(季節調整値:APIR 推計)は48.6万人。前月(46.7万人)から1.9万人増加した。

完全失業率の推移 (季節調整値: %, 万人、2014年7月まで)



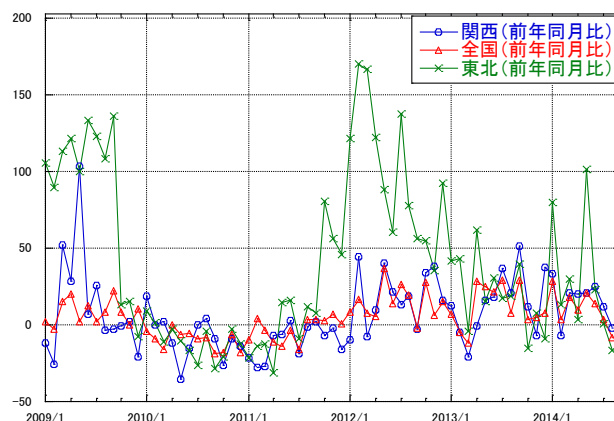
(出所) 総務省「労働力調査」(平成26年8月29日発表)

【公共投資】

(1) 公共工事請負金額

8月関西の公共工事請負金額は1,167億円。前年同月比-2.0%と6カ月ぶりのマイナス。全国は1兆1,276億円と同-8.1%、17カ月ぶりのマイナス。東北は2,150億円と同-16.9%と8カ月ぶりのマイナスとなった。関西、全国、東北は、いずれも伸び率がマイナスに転じた。

公共工事請負金額(前年同月比: %, 2014年8月まで)

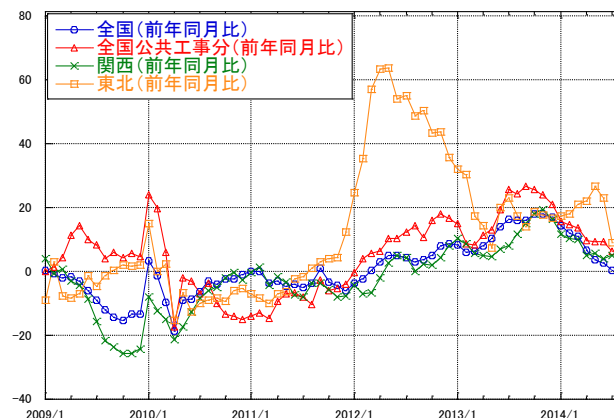


(出所) 「公共工事前払金保証統計」、東日本建設業保証株式会社
季節調整値(APIR 推計)で見ても、関西、全国とも3カ月連続の前月比マイナス(関西: 同-15.8%、全国: 同-21.2%)。請負金額の伸びは関西、全国共に減速感が強まっている。

(2) 建設工事

関西7月の建設工事は4,756億円。前年同月比+4.9%と27カ月連続のプラスも、伸びは4カ月連続で1桁となった。

建設工事(前年同月比: %, 2014年7月まで)



(出所) 国土交通省「建設総合統計」

東北は4,732億円、同+8.9%と36カ月連続のプラスも14カ月ぶりに伸び率は1桁となった。全国は3兆7,382億円となり同+0.5%と29カ月連続のプラスだが、9カ月連続で伸びは減速。全国的に建設工事の伸びは減速傾向にある。

全国の公共工事は1兆4,855億円、同+6.3%と30カ月連続のプラスも、4カ月連続で1桁の伸びにとどまった。

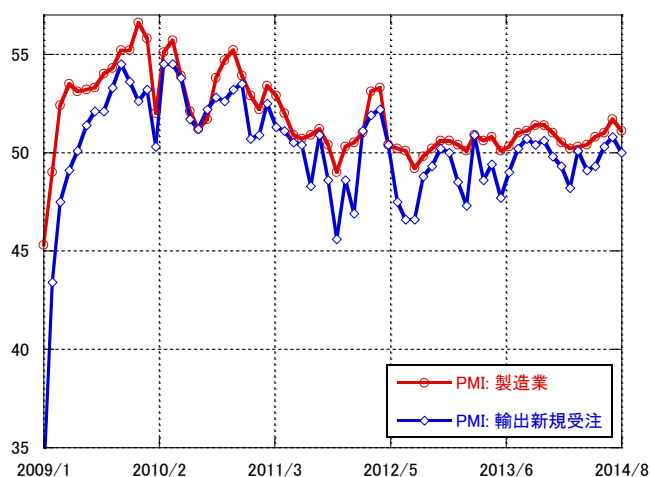
【中国景気モニター】

(1) センチメント

8月の製造業購買担当者景況指数(PMI)は、前月から-0.6ポイント低下し、51.1となった。6カ月ぶりの悪化。

うち、生産指数は53.2と同-1.0ポイント減速し、4カ月ぶりのマイナス。新規受注指数は52.5となり、同-1.1ポイント減速し、6カ月ぶりのマイナス。輸出新規受注は同-0.8ポイント小幅減速し50.0となり、3カ月連続で50を上回った(4カ月ぶりの悪化)。一方、雇用指数は48.2となり、同-0.1ポイントと低下し、2カ月連続の悪化。2012年6月以来、26カ月連続で51を下回っている。

中国製造業購買担当者景況指数(2014年8月まで：%)



出所：中国国家统计局; CEIC データベース

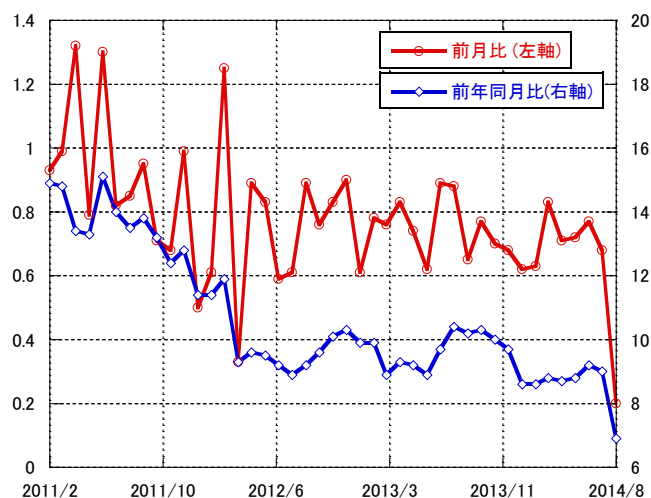
(2) 工業生産

8月の工業生産は、前月比+0.2%と2カ月連続の減速(7月：同+0.7%)となった。前年同月比は+6.9%と前月(+9.0%)より大幅に減速した。

産業別に見ると、鉄道・輸送機器製造業(前年同月比+16.1%)、金属製品製造業(同+11.9%)、有色金属の製錬・圧延加工業(同+11.1%)、医薬製造業(同+10.6%)が高い伸びを示す一方で、繊維工業(同+5.7%)、鉄鋼などの製錬・圧延加工

業(同+3.5%)は比較的低調な伸びにとどまった。電力・熱力生産・供給業(同-1.7%)は前年同月から減産した。

工業生産指数(2014年8月まで：%)



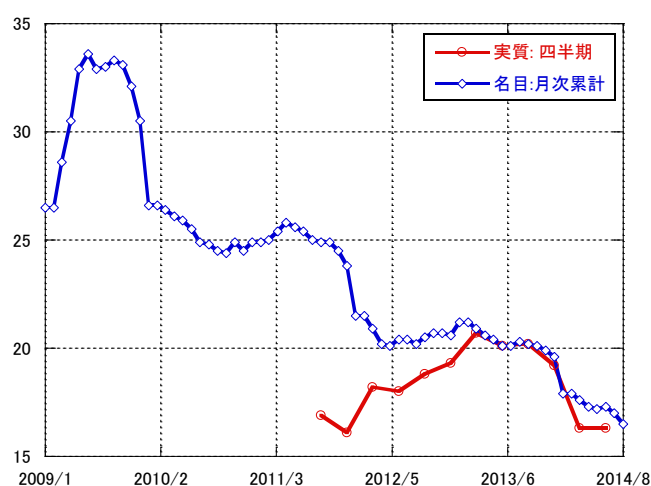
出所：中国国家统计局; CEIC データベース

(3) 固定資産投資

2014年1-8月期の(累積)固定資産投資(名目)は前年同期比+16.5%と2カ月連続の減速(1-7月期(同+17.0%))となった。

産業別に見れば、第1次産業は同+26.3%(前月+25.1%)、第2次産業は同+13.7%(前月+13.9%)、第3次産業は同+18.2%(前月+19.2%)となった。

固定資産投資 (2014年8月まで：%) (累積伸び率)

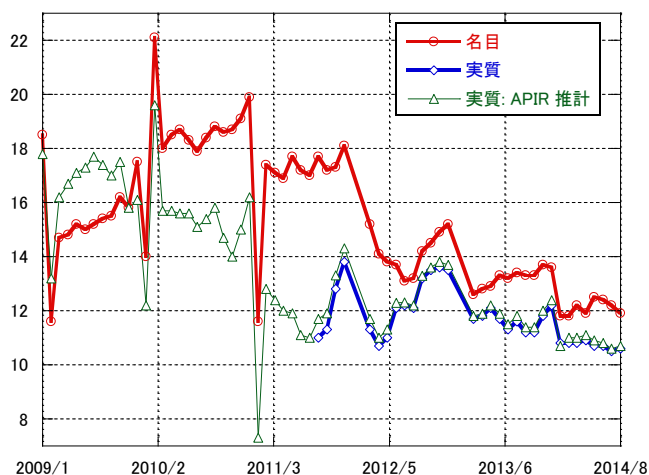


出所：中国国家统计局; CEIC データベース

(4) 消費

8月の社会消費品小売総額の名目成長率は前年同月比+11.9%となり、前月(同+12.2%)から幾分減速した。消費は中国経済成長のエンジンと期待されているが、3カ月連続の減速となった。

社会消費品小売総額 (2014年8月まで：%)



注: APIR 値は小売価格指数を用いて計算した値

出所: 中国国家统计局; CEIC データベース

(5) 貿易動向

8月の中国の輸出額(速報値、ドル・ベース)は前年同月比+9.4%増加し、5カ月連続のプラスとなった。輸入額は同-2.3%(速報値)となり、2カ月連続のマイナスとなった。

うち日本への輸出額は同-3.1%となり、前月(+2.9%)からマイナスに転じた。日本からの輸入額は同-5.3%となり、前月(+0.1%)からマイナスに転じた。

円ベースに換算すると、日本への輸出額は同+1.9%となり、6カ月連続のプラス。日本からの輸入額は同-0.4%となり、前月(+2.1%)からマイナスとなった。

日本との貿易 (前年同月比; 円ベース) (2014年8月まで：%)



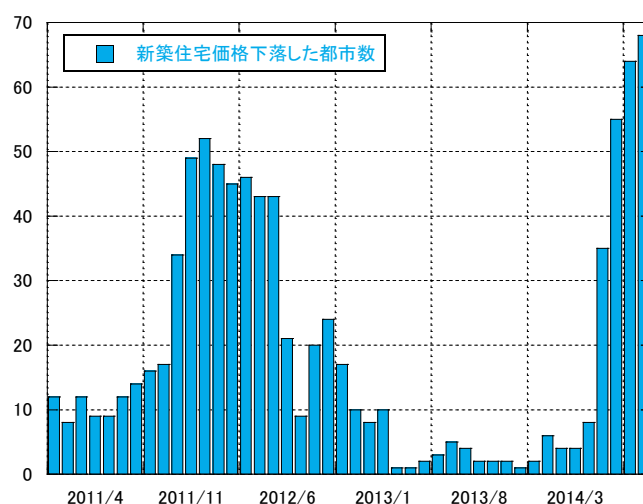
出所: 中国税関; CEIC データベース; APIR 計算

(6) 不動産市場

不動産価格から見れば、中国主要70都市のうち、68都市の新築住宅価格が前月に比べて下落した。下落した都市の数は7月の64都市から拡大した。

不動産市場の減速により、下半期の中国経済は引き続き下振れリスクに直面する。

新築住宅価格の主要都市集計 (2014年8月まで：都市数)



出所: 中国国家统计局; CEIC データベース;

Contact: 岡野光洋・林万平・木下祐輔

Tel. 06-6485-7695,

E-mail. contact@apir.or.jp

【主要月次統計】

月次統計	13/08M	13/09M	13/10M	13/11M	13/12M	14/01M	14/02M	14/03M	14/04M	14/05M	14/06M	14/07M	14/08M
景況感													
[関西]景気ウォッチャー調査(現状DI、合計)	51.4	54.6	52.8	55.8	56.1	55.6	56.3	60.8	43.6	45.9	47.9	51.4	49.3
[関西]景気ウォッチャー調査(現状DI、家計)	48.8	53.0	50.4	54.6	54.1	53.7	53.4	60.1	40.4	43.1	46.8	50.3	49.9
[関西]景気ウォッチャー調査(先行き、合計)	52.3	55.9	57.7	58.5	57.3	49.9	42.0	36.0	51.4	54.1	54.5	51.9	51.9
[全国]景気ウォッチャー調査(現状DI、合計)	51.2	52.8	51.8	53.5	55.7	54.7	53.0	57.9	41.6	45.1	47.7	51.3	47.4
[全国]景気ウォッチャー調査(現状DI、家計)	49.3	50.6	49.2	51.3	53.1	52.2	50.2	57.0	37.2	42.1	45.1	49.4	45.8
[全国]景気ウォッチャー調査(先行き、合計)	51.2	54.2	54.5	54.8	54.7	49.0	40.0	34.7	50.3	53.8	53.3	51.5	50.4
消費者心理・小売り													
[関西]消費者態度指数(原数値)	43.4	45.2	40.6	41.0	40.3	39.9	37.6	36.8	37.1	39.5	41.2	41.6	41.5
[関西]〃暮らし向き(原数値)	40.8	42.4	38.1	38.7	37.6	37.2	34.7	34.1	34.2	37.0	38.5	38.8	39.8
[関西]〃収入の増え方(原数値)	40.3	41.2	37.6	38.4	38.0	37.3	36.5	37.0	37.1	37.7	37.7	38.7	38.7
[関西]〃雇用環境(原数値)	47.6	51.1	45.1	46.1	46.5	48.6	46.3	45.3	44.5	45.7	48.4	48.4	47.7
[関西]〃耐久消費財の買い時判断(原数値)	44.9	46.2	41.6	40.7	39.2	36.7	33.0	31.0	32.5	37.6	40.1	40.4	39.8
[全国]消費者態度指数(季節調整値)	43.1	45.4	41.4	42.4	41.3	40.3	38.5	37.5	37.0	39.3	41.1	41.5	41.2
[関西]乗用車新規登録届出数(前年同月比%)	-0.5	14.0	17.9	16.2	24.6	28.2	20.8	20.4	-8.9	-2.5	-1.8	-1.4	UN
[関西]家電販売額(前年同月比%)	4.6	-5.1	3.3	6.1	-1.2	11.0	34.4	68.6	-18.4	-13.2	-12.3	-3.3	UN
[関西]大型小売店販売額(10億円)	303.7	289.4	305.2	329.6	415.9	333.0	286.6	377.8	281.1	304.0	314.1	335.0	UN
[関西]大型小売店販売額(前年同月比%、全店)	1.2	2.6	1.0	1.1	1.0	1.0	3.4	19.3	-5.5	0.1	-1.0	0.5	UN
[全国]大型小売店販売額(10億円)	1582.3	1505.9	1591.1	1696.3	2139.9	1711.7	1469.0	1956.2	1467.7	1592.9	1631.7	1717.2	UN
[全国]大型小売店販売額(前年同月比%、全店)	0.9	1.7	0.8	1.2	0.9	0.7	2.4	17.0	-6.1	-0.5	-1.2	0.3	UN
住宅・建設													
[関西]新設住宅着工(戸数)	11537.0	13606.0	14873.0	13938.0	14737.0	11299.0	9592.0	11170.0	12424.0	10095.0	12018.0	10038.0	UN
[関西]新設住宅着工(前年同月比%)	-1.2	35.2	19.7	37.9	33.1	11.7	-13.3	2.5	16.9	-18.6	-1.6	-20.5	UN
[全国]新設住宅着工(戸数)	84343.0	88539.0	90226.0	91475.0	89578.0	77843.0	69689.0	69411.0	75286.0	67791.0	75757.0	72880.0	UN
[全国]新設住宅着工(前年同月比%)	8.8	19.4	7.1	14.1	18.0	12.3	1.0	-2.9	-3.3	-15.0	-9.5	-14.1	UN
[関西]マンション契約率(季節調整値)	79.6	83.1	78.3	79.2	71.7	72.1	80.6	75.9	73.0	81.3	72.7	73.8	70.3
[関西]マンション契約率(原数値)	81.1	80.5	79.6	76.0	69.9	65.2	77.4	77.8	74.3	85.3	76.4	77.1	71.7
[全国]マンション契約率(季節調整値)	84.7	83.5	82.4	79.4	75.0	84.2	81.8	75.4	72.4	78.1	73.4	84.0	72.3
[全国]マンション契約率(原数値)	81.5	83.5	79.6	79.6	76.1	78.6	80.6	79.8	74.7	78.9	76.6	83.7	69.6
[関西]公共工事前払保証額(10億円)	119.1	167.5	135.7	111.2	112.6	94.3	78.9	132.2	187.0	173.7	188.3	164.5	116.7
[関西]公共工事前払保証額(前年同月比%)	20.8	51.4	12.2	-7.0	37.8	33.2	-6.8	20.8	20.3	21.1	25.0	12.2	-2.0
[全国]公共工事前払保証額(10億円)	1226.7	1523.5	1420.5	941.6	886.0	777.6	695.9	1456.8	1758.3	1312.6	1585.5	1627.3	1127.6
[全国]公共工事前払保証額(前年同月比%)	7.9	29.4	3.5	4.9	7.5	28.8	3.7	18.1	10.0	21.1	14.3	3.5	-8.1
[関西]建設工事(総合、10億円)	483.0	521.8	540.2	569.5	595.0	592.7	585.3	567.9	442.4	450.5	462.1	475.6	UN
[関西]建設工事(総合、前年同月比%)	11.7	15.0	18.1	19.3	16.4	11.6	10.5	10.1	4.9	5.7	4.2	4.9	UN
[全国]建設工事(総合、10億円)	3981.3	4319.8	4549.6	4779.7	4920.2	4672.1	4607.0	4551.9	3512.0	3435.2	3634.4	3738.2	UN
[全国]建設工事(総合、前年同月比%)	16.1	16.2	18.1	17.9	16.9	14.3	12.1	10.9	6.6	3.7	2.8	0.5	UN
[関西]建設工事(公共工事、10億円)	1567.3	1811.8	1997.6	2171.5	2259.8	2111.5	2123.8	2124.6	1378.3	1301.1	1410.8	1485.5	UN
[全国]建設工事(公共工事、前年同月比%)	24.3	26.7	25.6	24.2	20.9	15.7	14.7	13.8	9.7	9.4	9.4	6.3	UN
生産													
[関西]鉱工業生産(季節調整値、10年=100)	102.7	102.9	104.1	102.7	103.9	105.9	105.3	105.9	106.5	109.2	106.7	107.3	UN
[関西]鉱工業生産(季節調整値、前月比)	0.5	0.2	1.2	-1.3	1.2	1.9	-0.6	0.6	0.6	2.5	-2.3	0.6	UN
[関西]〃出荷指数(原数値、前年同月比%)	-1.9	-0.2	0.5	1.0	3.6	8.5	6.3	6.7	3.0	1.5	5.5	1.2	UN
[関西]〃在庫指数(原数値、前年同月比%)	-1.2	0.5	1.5	0.7	3.1	3.1	3.0	2.4	3.7	6.4	6.4	6.4	UN
[関西]〃出荷指数(季節調整値、10年=100)	101.1	100.6	101.8	102.8	103.1	107.5	106.3	106.7	102.4	102.8	102.9	101.5	UN
[関西]〃在庫指数(季節調整値、前月比)	-1.1	-0.5	1.2	1.0	0.3	4.3	-1.1	0.4	-4.0	0.4	0.1	-1.4	UN
[関西]〃在庫指数(季節調整値、10年=100)	111.7	112.6	114.1	112.7	115.5	114.9	114.5	112.8	114.9	117.5	117.6	120.1	UN
[関西]〃在庫指数(季節調整値、前月比)	-1.3	0.8	1.3	-1.2	2.5	-0.5	-0.3	-1.5	1.9	2.3	0.1	2.1	UN
[全国]鉱工業生産(季節調整値、10年=100)	97.1	98.6	99.2	99.5	100.0	103.9	101.5	102.2	99.3	100.0	96.6	97.0	UN
[全国]鉱工業生産(季節調整値、前月比)	-0.5	1.5	0.6	0.3	0.5	3.9	-2.3	0.7	-2.8	0.7	-3.4	0.4	UN
[全国]〃出荷指数(原数値、前年同月比%)	-1.4	4.6	6.3	6.6	6.4	9.3	6.5	6.5	2.4	-0.8	2.2	-0.1	UN
[全国]〃在庫指数(原数値、前年同月比%)	-3.4	-3.5	-3.6	-5.1	-4.3	-3.9	-3.4	-1.4	-1.9	0.8	2.8	2.9	UN
[全国]〃出荷指数(季節調整値、10年=100)	96.1	97.7	99.0	99.1	99.3	104.4	103.4	103.2	98.0	97.0	95.2	95.9	UN
[全国]〃在庫指数(季節調整値、前月比)	0.1	1.7	1.3	0.1	0.2	5.1	-1.0	-0.2	-5.0	-1.0	-1.9	0.7	UN
[全国]〃在庫指数(季節調整値、10年=100)	107.6	107.5	107.2	105.7	105.5	105.1	104.2	105.7	105.2	108.4	110.6	111.6	UN
[全国]〃在庫指数(季節調整値、前月比)	-0.7	-0.1	-0.3	-1.4	-0.2	-0.4	-0.9	1.4	-0.5	3.0	2.0	0.9	UN
労働													
[関西]現金給与総額(2府4県、前年同月比%)	-0.6	-0.5	-0.5	-0.1	-0.6	-0.8	-0.3	0.8	0.3	0.8	2.4	UN	UN
[関西]現金給与総額(2府1県、前年同月比%)	-0.6	-0.5	-0.5	-0.2	-1.0	-0.5	-0.4	0.6	0.1	0.6	2.3	UN	UN
[全国]現金給与総額(前年同月比%)	-0.9	-0.2	-0.1	0.6	0.5	-0.2	-0.1	0.7	0.7	0.6	1.0	2.4	UN
[関西]完全失業率(季節調整値)	4.3	4.1	4.6	3.9	3.9	4.1	4.1	4.1	4.2	4.0	4.5	4.7	UN
[関西]完全失業率(原数値)	4.4	4.1	4.7	3.9	3.6	4.2	4.3	4.4	4.3	4.0	4.2	4.7	UN
[全国]完全失業率(季節調整値)	4.1	4.0	4.0	4.0	3.7	3.7	3.6	3.6	3.6	3.5	3.7	3.8	UN
[関西]新規求人倍率(季節調整値)	1.41	1.42	1.51	1.48	1.58	1.56	1.63	1.62	1.55	1.55	1.61	1.57	UN
[全国]新規求人倍率(季節調整値)	1.47	1.50	1.59	1.56	1.64	1.63	1.67	1.66	1.64	1.64	1.67	1.66	UN
[関西]有効求人倍率(季節調整値)	0.90	0.89	0.91	0.94	0.96	0.98	1.00	1.00	1.01	1.02	1.02	1.03	UN
[全国]有効求人倍率(季節調整値)	0.95	0.95	0.98	1.00	1.03	1.04	1.05	1.07	1.08	1.09	1.10	1.10	UN
国際貿易													
[関西]純輸出(10億円)	7.1	-34.3	-112.4	-106.0	-77.0	-461.8	51.8	-110.9	-8.1	-27.7	-21.7	-61.9	44.6
[関西]輸出(10億円)	1256.9	1254.4	1284.7	1242.3	1308.4	1087.7	1212.5	1351.7	1312.7	1231.2	1288.9	1310.7	1273.5
[関西]輸出(前年同月比%)	15.7	5.3	14.3	15.6	10.6	10.3	15.0	3.1	8.6	1.2	1.5	5.5	1.3
[関西]輸入(10億円)	1249.8	1288.7	1397.0	1348.3	1385.4	1548.3	1160.7	1462.6	1323.4	1258.8	1310.5	1372.4	1228.8
[関西]輸入(前年同月比%)	11.4	15.9	23.9	12.2	22.6	26.6	7.6	20.0	2.7	0.0	13.8	0.5	-1.7

注1：鉱工業生産 輸送機械工業は鋼船・鉄道車両除く

Release Calendar for APIR Monthly

Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday
1-Sep	2-Sep 毎月勤労統計 (7月:速報値)	3-Sep	4-Sep	5-Sep
8-Sep	9-Sep 消費動向調査(8月) 景気ウォッチャー調査 (8月)	10-Sep	11-Sep 近畿鉱工業生産指数 (7月速報)	12-Sep 商業動態調査 (7月:確報値) 全国鉱工業生産指数 (7月:確報値)
15-Sep	16-Sep マンション契約率 (8月)	17-Sep 建設総合統計(7月)	18-Sep 毎月勤労統計 (7月:確報値) 全国貿易統計 (8月:速報) 近畿貿易統計 (8月速報)	19-Sep
22-Sep	23-Sep	24-Sep	25-Sep 近畿鉱工業生産指数 (7月確報)	26-Sep 近畿貿易統計 (8月確速)
29-Sep 全国貿易統計 (8月:確速)	30-Sep 毎月勤労統計 (8月:確報値) 商業動態調査 (8月:速報値) 全国鉱工業生産指数 (8月:速報値) 新設住宅着工(8月) 求人倍率(8月) 完全失業率(8月)	1-Oct	2-Oct	3-Oct